

京都府では、写真芸術の振興を図るために、1986年から「京都現代写真作家展」を同展実行委員会と共催で、隔年で開催しています。写真のもつ意味や独自性を再考し、この時代のリアリティを反映した創造的表現に挑み、現代に発信しようとする展覧会です。第19回展では、公募による入選作品、賛助出品、府内高校生の選抜作品など、約170点を展示します。より多くの方に多様な写真芸術の魅力に触れていただき、本展が写真を通じた交流の機会となることを目指しています。

主催—京都府/京都現代写真作家展実行委員会

後援—京都新聞/朝日新聞京都総局/毎日新聞京都支局/読売新聞京都総局/産経新聞社京都総局/日本経済新聞社京都支社/京都リビング新聞社/NHK京都放送局/KBS京都/エフエム京都/PHOTO PARTNER KYOTO (京都府写真材料商業組合)/(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

第19回京都現代写真作家展実行委員会

《実行委員》植田憲司/梶川由紀/亀村俊二/小林達也/佐藤博一/竹内万里子/中山博喜/森岡誠

《顧問》神崎順一/北奥耕一郎/佐藤敬二

第19回

京都現代写真作家展

京都写真ビエンナーレ2023

PRESENCE / いま、在ること

2023年12月13日[水]—17日[日]

10:00—18:00 入場無料/最終日は16:30閉場

京都府京都文化博物館 5階

京都市中京区三条高倉(地下鉄「烏丸御池」駅下車、5番出口から三条通を東へ、徒歩3分)

TEL(075)222-0888[代表](075)222-1771[会期中のみ会場直通] <https://www.bunpaku.or.jp/>

専用駐車場はございませんので、公共交通機関にてご来場ください。

* 授賞審査員

神崎順一

(写真家)

12月16日[土] 13:30—14:30
高校生作品講評(展示会場内)

北奥耕一郎

(写真家)

12月17日[日] 10:30—12:00
シンポジウム「京都∞写真」(3階フィルムシアター)

佐藤敬二

(デザイン評論家)

12月17日[日] 13:00—
授賞式/ギャラリートーク(展示会場内)

姫野希美

(出版ディレクター、「赤々舎」代表)

会期中、展示会場内で過去受賞作をモニタ上映いたします。

お問い合わせ先—京都府文化生活部文化芸術課
(第19回京都現代写真作家展実行委員会事務局)

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

TEL:(075)414-4221 FAX:(075)414-4223

メール: bungei@pref.kyoto.lg.jp

<https://www.pref.kyoto.jp/bungei/shashin.html>

「第19回京都現代写真作家展 京都写真ビエンナーレ2023」関連事業

シンポジウム

京都∞写真

— 過去・現在・未来をつなぐもの —

京都における写真芸術の発展のため、隔年で開催されている京都現代写真作家展は、「京都」と「写真」の関係について再考する機会にもなっています。今回のシンポジウムでは、本展の実行委員がそれぞれの専門的観点から意見を交換し、「京都」を通して見えてくる写真の創造性や可能性、「写真」を通して見えてくる京都の特性や魅力をあらためて吟味し、次代の写真を展望したいと考えています。

2023年12月17日[日] 10:30–12:00

京都府京都文化博物館 3階フィルムシアター

パネリスト(登壇者)[予定]:

植田 憲司 (キュレーター)

小林 達也 (写真家)

中山 博喜 (写真家)

モデレーター(司会・進行):

竹内 万里子 (写真評論家)

入場無料



参加方法

当日10時から受付開始。京都文化博物館3階エレベーターホール、
および5階展示室で先着150名に整理券を配付します。



「第19回京都現代写真作家展 京都写真ビエンナーレ2023」は、
文化庁京都移転記念事業「きょう ハレの日、」(デジタルスタンプラリー)に参加しています。
<https://culturehub.kyoto/events/608/>

